

2024年度 エコアクション21 環境経営レポート

発行日 2024年10月31日

改定日 2024年12月03日

レポート対象期間 2023年10月01日 ～ 2024年09月30日

有限会社 クリーン湯ノ内



[目次]

表紙	1
目次	2
1. 組織の概要	3
1) 事業者名及び代表者名	3
2) 所在地	3
3) 環境管理責任者及び事務局	3
4) 連絡先	3
5) 事業活動の内容	3
6) 認証登録範囲及び活動期間	4
7) 事業規模	4
8) 収集運搬車両及び積載能力	4
9) 廃棄物の処理料金	4
10) 環境関連技術資格の名称と取得人数	5
11) E A 2 1 推進組織図	6
2. 環境経営方針	7
3. 環境負荷の調査結果	8
4. 環境経営目標	9
5. 実績	10～11
6. 主要な2024年度の環境経営計画の内容	12～13
7. 環境経営計画の取組結果と評価	13～15
8. 次年度以降の取り組み内容	15
9. 環境関連法規への違反、訴追等の有無	16
10. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果	17

1. 組織の概要

1) 事業者名称及び代表者名

事業者名称 : 有限会社クリーン湯ノ内
 代表者名 : 代表取締役 川本 満博
 設立日 : 昭和50年4月1日
 資本金 : 500万円

2) 所在地

本社 : 〒678-0239 兵庫県赤穂市加里屋1254番1

3) 環境管理責任者及び事務局

E A 2 1 環境管理責任者 飯尾 健二 事務局 廣瀬 博展

4) 連絡先

連絡担当者 : E A 2 1 事務局 廣瀬 博展
 T E L : 0791-45-1838
 F A X : 0791-45-3255

5) 事業活動の内容

産業廃棄物の収集運搬、一般廃棄物の収集運搬、工場清掃及び下水清掃、
 一般貨物自動車運送事業

【産業廃棄物許可証の内容及び許可番号】

許可区域	許可区分	許可番号	取り扱う産業廃棄物の種類																優良認定 年月日	許可年月日 有効年月日
			燃 殻 塵	煤 塵	感 染 性 汚 染 物	石 綿	廃 水 泥	汚 泥	廃 油	廃 酸	廃 アルカリ	廃 プラスチック	紙 屑	木 屑	織 物	動 植物	金 属	ガラス		
兵庫県	特別管理産業廃棄物	第02856003032号	○	○	○	○	○	○	○	○	○								平成23. 11. 01	令和04. 08. 24 令和11. 08. 23
	産業廃棄物	第02806003032号	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	平成23. 11. 01	平成30. 11. 01 令和07. 10. 31
大阪府	特別管理産業廃棄物	第02750003032号						○	○	○	○								平成23. 11. 15	令和04. 07. 01 令和11. 06. 30
	産業廃棄物	第02700003032号						○	○	○	○	○	○	○			○	○	平成23. 11. 15	令和06. 09. 15 令和13. 09. 14
岡山県	特別管理産業廃棄物	第3358003032号		○	○			○	○	○	○								平成23. 11. 16	令和04. 06. 23 令和11. 06. 22
	産業廃棄物	第03308003032号						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	平成23. 11. 16	平成30. 03. 28 令和07. 03. 25
京都府	特別管理産業廃棄物	第02651003032号						○	○	○	○								平成24. 02. 03	令和04. 07. 25 令和11. 06. 30
	産業廃棄物	第02601003032号						○	○	○	○	○					○	○	平成24. 02. 03	令和03. 04. 22 令和10. 03. 22
赤穂市	一般廃棄物	第1号-2-3	一般廃棄物																	令和06. 04. 01 令和08. 03. 31
たつの市	一般廃棄物	た環第5号	一般廃棄物																	令和05. 04. 01 令和07. 03. 31

優良認定年月日＝優良産廃処理業者認定日（確認日） 注 許可年月日・有効年月日は許可証の表記に合わせている

6) 認証登録範囲及び活動期間

(1) 対象事業所の所在地と主要業務は以下の通り

対象事業所の名称 : 有限会社クリーン湯ノ内

対象事業所所在地 : 兵庫県赤穂市加里屋 1 2 5 4 番 1

事業活動 : 産業廃棄物の収集運搬、一般廃棄物の収集運搬
工場清掃及び下水清掃、一般貨物自動車運送事業

(2) 活動期間

活動期間は「2023年10月01日～2024年09月30日」とする

活動期間の年度は「2024年度」とする

7) 事業規模

	単位	2009 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
産廃運搬量	t	10,076	10,372	8,209	8,491	8,921	11,135
一廃運搬量	t	—	3.43	3.85	5.15	3.78	3.64
売上高	百万円	412	373	330	360	391	389
従業員数	人	11	14	14	15	14	15

8) 収集運搬車両

・ キャブオーバ (軽トラ)	[350kg]	・・・	2 台
・ キャブオーバ (2 t 平)	[3,000kg]	(パワーゲート付き) ・・・	1 台
・ キャブオーバ (3 t 平)	[3,450kg]	(ユニック付き) ・・・	1 台
・ キャブオーバ (4 t 平)	[3,950kg]	(パワーゲート付き) ・・・	1 台
・ キャブオーバ (13 t 平)	[13,700kg]	・・・	1 台
・ 脱着装置付きコンテナ専用車	[3,650kg]	・・・	1 台
・ 脱着装置付きコンテナ専用車	[6,500kg]	(ヒアブ付き) ・・・	1 台
・ 脱着装置付きコンテナ専用車	[8,000kg]	・・・	1 台
・ タンク車 (ローリー車)	[12,690kg]	・・・	1 台
・ タンク車 (ローリー車)	[12,480kg]	・・・	1 台
・ 清掃車 (ブロアー車)	[10,550kg]	・・・	1 台
・ 清掃車 (ブロアー車)	[10,200kg]	・・・	1 台
・ 清掃車 (ブロアー車)	[11,000kg]	・・・	1 台
・ 清掃車 (ブロアー車)	[2,000kg]	・・・	1 台
合計			15 台

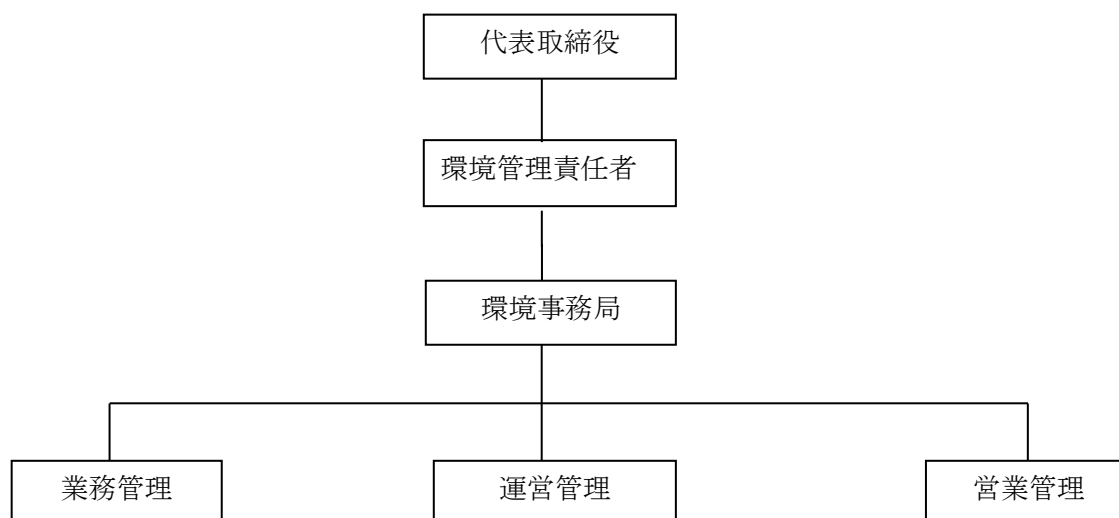
9) 廃棄物の処理料金 : 別途見積書による

(廃棄物の種類、数量、荷姿、性状等により、処理料金が異なる為)

10) 環境関連技術資格の名称と取得人数 (2024.09.30 現在)

大型運転免許	8人
中型運転免許	1人
甲種・危険物取扱者免許	1人
乙種・4類危険物取扱者免許	9人
運行管理者基礎講習	8人
運行管理者資格証取得	6人
二級技能検定合格証(機械系保全作業)取得	1人
小型移動式クレーン運転技能講習修了	9人
床上操作式クレーン運転技能講習修了	3人
玉掛技能講習修了	9人
高所作業車運転技能講習修了	3人
フォークリフト運転技能講習修了	9人
足場組立等作業主任者技能講習修了	2人
足場の組み立て等特別講習終了	8人
特定化学物質等作業主任者技能講習修了	3人
鉛作業主任者技能講習修了	1人
有機溶剤作業主任者技能講習修了	1人
ガス溶接技能講習修了	2人
安全衛生特別教育受講(酸素欠乏危険作業に係る業務)	7人
第2種酸素欠乏危険作業主任者技能講習修了	6人
職長・安全衛生責任者教育修了	6人
小型車両系建設機械(整地用3t未満)特別教育受講	1人
アーク溶接特別教育受講	2人
5t未満クレーン運転特別教育受講	5人
甲種・防火管理者講習修了	1人
特殊高圧ガス取扱主任者講習修了	1人
P C B廃棄物の収集運搬作業従事者講習会受講	3人
特別管理産業廃棄物処理業に関する更新許可講習・収集運搬課程修了	1人
産業廃棄物処理業に関する新規許可講習・処分課程修了	1人
整備管理者選任前研修修了	3人
はい作業主任者技能講習修了	3人
粉じん作業特別講習受講	8人
自由研削といし特別教育受講	8人
高圧ガス消費者保安講習会受講	3人
高所作業特別教育	1人
フルハーネス型墜落制止用器具特別教育	9人
石綿作業主任者講習修了	5人
仮払機取り扱い作業安全衛生教育	6人
テールゲートリフター特別教育修了	9人
騒音障害防止管理者労働衛生教育修了	3人
熱中症予防管理者労働衛生教育修了	3人

1 1) E A 2 1 推進組織図



環境経営システム 役割・責任・権限表

役 割 ・ 責 任 ・ 権 限	
代表取締役	・ 環境経営に関する統括責任 ・ 経営資源の準備 ・ 環境管理責任者の任命 ・ 経営における課題とチャンスの明確化 ・ 環境経営方針の策定・見直し及び従業員への周知 ・ 環境経営目標・環境経営計画書の承認 ・ 代表者による全体の評価と見直し・指示の実施 ・ 環境経営レポートの承認
環境管理 責任者	・ 環境経営システムの構築、実施、管理 ・ 環境関連法規等の取りまとめ表の承認 ・ 環境経営目標・環境経営計画書の承認 ・ 従業員に対する環境経営方針の周知、及び教育訓練の実施 ・ 環境経営レポートの確認
環境事務局	・ 環境管理責任者の補佐、E A 2 1 推進の事務局 ・ 環境への負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・ 環境関連文書、及び記録の作成管理 ・ 環境経営計画の実施・実績集計、及び達成状況の報告 ・ 従業員に対する教育訓練の実施、記録の作成 ・ 環境関連法規等取りまとめ表の作成、及び遵守評価の実施 ・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・ 環境経営レポートの作成、公開（事務所に備え付けと地域事務局への送付） ・ その他E A 2 1 に関する業務
全従業員	・ 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚、自主的・積極的に環境活動へ参加

有限会社クリーン湯ノ内 2024年度 環境経営方針

基本理念

有限会社クリーン湯ノ内（以下「当社」と称する）は、地球環境問題を、人類共通の課題であると認識し、環境への負荷低減の為、環境保全に配慮した活動を継続的に行います。

環境経営方針

当社は、環境関連法規類を遵守し、環境経営目標を定め、定期的に見直しを行うと共に、効果的な運行管理、及び環境教育、必要資格取得の充実等で人材育成を行い、継続的改善を進める。

具体的な取組として、次に掲げる項目を推進致します。

1. 地球温暖化防止のため、二酸化炭素排出量の削減に努めます。

その為には資源とエネルギーの効率化に努めます。

- (1) 電力使用量の削減
- (2) ガソリン使用量の削減
- (3) 軽油使用量の削減
- (4) 水道水使用量の削減

2. 資源の循環化の促進、及び環境負荷の低減に努めます。

- (1) 廃棄物の分別によるリサイクルの向上
- (2) 化学物質の適正管理
- (3) 収集・運搬中の環境への配慮

これらの環境経営方針は、環境教育を通じ、全ての従業員へ周知徹底すると共に、社内外に公開します。

制定日 2010年 5月25日

改定日 2022年11月 7日

有限会社クリーン湯ノ内

代表取締役 川本満博

3. 環境負荷の調査結果と取組状況まとめ

2022年度、2023年度及び2024年度の「環境への負荷の自己チェック表」の調査結果のまとめは下表の通りです。

環境への負荷の状況（まとめ表）

		単位	2024年度	2023年度	2022年度
①総エネルギー投入量	購入電力 ※1	MJ	156,357	158,766	157,113
	化石燃料	MJ	3,714,934	3,340,413	3,323,247
②温室効果ガス排出量	二酸化炭素 ※1	kg-CO ₂	259,835	213,475	218,864
④-1 受託した産業廃棄物の処理量	収集運搬量	t	11,135	8,921	10,378
④-2 受託した一般廃棄物の処理量	収集運搬量	t	3.64	3.87	3.43
⑤廃棄物等 総排出量※2 内容※3	再生利用	t	0.230	0.244	0.279
	単独焼却	t	0.040	0.048	0.077
	その他	t	0.0070	0.0147	0.0135
	再生循環率	%	75.49	79.45	75.49
	廃棄物最終処分量	t	0.0070	0.0147	0.0135
⑥水資源投入量	上水道	m ³	242.2	238.3	204.0
⑦総排水量	公共用水域	m ³	242.2	238.3	204.0
⑧化学物質排出量・移動量	大気へ排出	リットル	4.0	16.5	6.0

※1 2022年度から2024年度の電力の温室効果ガス排出量を最新のCO₂調整後排出係数（0.311kg-CO₂/kWh）に見直して計算しています。（関西電力2021年2月度関電力公表値による）

※2 ④-2 受託した一般廃棄物には自社発生の⑤廃棄物等（一般廃棄物排出量）が含まれています。

※3 ⑤廃棄物等総排出量※2内容は、コピー用紙、段ボール新聞紙、雑誌カタログ類可燃ごみ、その他の紙類ペットボトル、瓶不燃物、空き缶類、プラスチック類飲食物のから容器、他

4. 環境経営目標

当社の2024年度の環境経営目標は以下のような目標を設定いたしました。

各目標基準年度を2021年度に統一。

取組項目		基準値	2024年度目標
二酸化炭素 排出量の削減	電力使用量の削減	16,672 kWh	2021年度基準値以下
	ガソリン使用量の削減	6,177 L	2021年度基準値以下
	軽油原単位	5.73 kg-CO ₂ /万円	2021年度基準値以下
	軽油使用量の削減 ※1	参考削減基準 72,119 L	参考削減目標 2021年度基準値以下
	二酸化炭素量の合計 ※2	208,788 kg-CO ₂	2021年度基準値以下 CO ₂ 排出量は電力の排出係数見直して 合計値が減少
水道水使用量の削減		229.1 m ³	2021年度基準値以下
廃棄物分別によるリサイクルの向上 (自社分)		廃棄物の分別、リサイクル実施	廃棄物の分別でリサイクルの向上 70%以上
化学物質の適正管理		—	燃料油や溶剤等の揮発、漏えい防止 特定フロンの回収・適正処理
収集・運搬中の環境への配慮		—	計画的な運行管理、収集運搬時の 飛散漏えい防止

中長期の環境経営目標（基準年度：2021年度）

	2023年度～2026年度
電力の削減	2021年度基準値以下
ガソリンの削減	2021年度基準値以下
原単位 参考削減目標 軽油の削減	目標5.73 kg-CO ₂ /万円（売上高）以下 参考削減目標 2021年度基準値以下
水道水使用量の削減	2021年度基準値以下
廃棄物の分別リサイクルの向上	廃棄物の分別でリサイクルの向上 70%以上
化学物質の適正管理	燃料や溶剤等の揮発、漏えい防止 特定フロンの排出抑制
収集運搬時の環境配慮	計画的な運行管理、収集運搬時の飛散漏えい防止

※1：軽油使用量の削減・・・売上高による原単位での比較を行います。

※2：①二酸化炭素量の合計・・・軽油を含む全ての二酸化炭素量排出量。

②電力の二酸化炭素への調整後排出係数：0.311 kg-CO₂/kWh（2021年2月関電力公表値）

5. 実績

2024年度環境経営目標に対する達成状況は以下の通りです。

参考 達成率の計算式 達成率＝（1－（実績値－目標値）／目標値）＊100

1) 二酸化炭素総排出量の削減 関連SDGsターゲット 13.3

取組項目	2024年度目標値	2024年度実績	達成率	評価
二酸化炭素排出量	208,788 kg-CO ₂	259,724 kg-CO ₂	75.60 %	未達成

2) 電力使用量の削減 関連SDGsターゲット 7.3

取組項目	2024年度目標値	2024年度実績	達成率	評価
電力使用量の削減	16,672 kWh	15,906.1 kWh	104.59 %	達成
二酸化炭素排出量	5,302 kg-CO ₂	4,946.8 kg-CO ₂		

3) ガソリン使用量の削減 関連SDGsターゲット 7.3 12.2

取組項目	2024年度目標値	2024年度実績	達成率	評価
ガソリン使用量の削減 基準年度以下	6,177 リットル	7,934 リットル	71.54 %	未達成
二酸化炭素排出量 基準年度以下	14,340 kg-CO ₂	18,420 kg-CO ₂		

4) 軽油使用量の削減 関連SDGsターゲット 7.3 12.2

取組項目	2024年度目標値	2024年度実績	達成率	評価
軽油原単位の削減 基準年度以下 ただしに kg-CO ₂ 換算し原単位で比較	5.73 kg-CO ₂ /万円（売上高）	6.08 kg-CO ₂ /万円（売上高）	94.0 %	未達成
軽油使用量の削減 （参考目標）	72,119 リットル	90,063 リットル	75.12 %	未達成
二酸化炭素排出量	189,264 kg-CO ₂	236,357 kg-CO ₂		

5) 水道水使用量の削減 関連SDGsゴール及びターゲット 6.4 12.2

取組項目	2024年度目標値	2024年度実績	達成率	評価
水道水使用量の削減 基準年度以下	229.1 m ³	242.2 m ³	94.29 %	未達成

6) 廃棄物の分別によるリサイクルの向上 関連SDG s ターゲット 12. 5

取り組み項目	取 組 結 果	評 価
社員への周知	年度初めに全員を集めて廃棄物削減、発生量の計量管理の目的説明と交代で廃棄物管理	達 成
分別の徹底	・ 廃棄物廃棄時の分別不具合時は指導実施 ・ 分別保管を再利用棚採用で3 S 実施	達 成
リサイクルの向上	・ コピー用紙の裏面使用による再利用 ・ リサイクル可能品は全てリサイクル実施。 ・ 機密保管種類の分別で製紙会社で再生	達 成

取組項目	2024年度目標値	2024年度実績	達成率	評価
リサイクルの向上	リサイクル率 70%以上	83.13 %	118.78 %	達成

7) 化学物質の適正管理 関連SDG s ターゲット 3. 9

取り組み項目	取 組 結 果	評 価
社員への周知	ミーティング時に予防とトラブル時の処置方法徹底	達 成
燃料油や溶剤等の揮発、漏えい防止 特定フロン回収・適正処理、及び簡易点検	・ 特定フロン使用機器の交換、廃棄等の事象は無い ・ エアコン（第一種特定製品）の簡易点検実施 ・ 燃料、塗料等の漏洩、及び使用後の蓋の閉め忘れ無しで特定化学物質等の漏洩なし	達 成

8) 収集・運搬に伴う環境負荷の低減 関連SDG s ターゲット 11. 6 12. 5

取り組み項目	取 組 結 果	評 価
定期的な環境教育	環境教育を実施（11回/年） （新規採用者教育、安全関係、対外的なコミュニケーション対応教育を含む）	達 成
適正な運行管理で運行時間の削減	毎日の配車設定により、運行管理は適性に出来ている	達 成
収集・運搬時の飛散漏えい防止徹底	・ 従来からのドラム缶ピンホールは発生無し	達 成

9) その他の環境保全活動等 関連SDG s ターゲット 4. 7 14. 1

- ①事業所前の道路の清掃活動を基本的に毎日実施
- ②従業員への環境教育、及び緊急事態対応訓練を実施

6. 主要な2024年度の環境経営計画内容

環境保全活動を推進する為、事業活動による環境負荷を低減する為に以下の通りに取り組んでいきます。

取り組みの結果については毎月フォローを事務局で実施する。

1) 電力使用量の削減取り組み

事業所のCO₂排出量の1.9%（2023年度比）を占める電気使用量を削減する。

- ・未使用時の照明の消灯する
- ・エアコンの設定温度の徹底（冷房時26度、暖房時22度に設定）
- ・事務所の窓の外に日除け目的で日除けシートを取り付けて、太陽光と輻射熱を削減する
- ・照明不要個所の消灯を図る

2) 燃料使用量の削減

事業所のCO₂排出量の98.1%（2023年度比）を占める燃料（軽油、ガソリン）の使用量を削減することが一番重要であると考え環境教育の都度下記のような対策実施を徹底する。

- ・アイドリングストップの徹底
- ・急発進、急停止の禁止等エコドライブの徹底
- ・配車スケジュールの検討と実施による適正運行管理
- ・エコドライブの呼び掛けを掲示

3) 水道水使用量の削減

使用量の変動は業務の内容により変動は有るが、効率的な使用と漏水の防止のための管理で節水を図る。

- ・社員への節水の呼び掛け実施
- ・配管からの漏水の有無を定期的に確認（出勤時のパトロールによる異常の有無確認など）
- ・冬季の屋外水道配管の凍結予防の為の保温の定期的補修

4) 廃棄物の分別によるリサイクルの向上

従来から不要物のリサイクル化は定着しており、分別状況等を見て不具合発生時に指導する。

- ・社員への分別回収・リサイクル意識の継続維持
- ・月次の排出量の計量、記録（計量担当者を交代制とし全員が係わることで意識の向上）
- ・パソコンによる管理、確認によるペーパーレス化の推進
- ・コピー用紙の裏面使用、その他封筒、用紙類のA4サイズ裁断による再利用
- ・経理関連保管書類の内リサイクル可能分の種類拡大と分別、及び、製紙会社にて原料化（窓付き封筒のフィルム選別によるリサイクル可能分の再利用）
- ・製紙会社との協議でリサイクル可能な紙の種類の増と分別工数削減を図る

5) その他の環境保全活動

①事業所前の道路の清掃活動を基本的に毎日実施

②従業員への教育

今年度の環境教育訓練は6回予定（必要に応じて追加環境教育を実施していく）

- ・他社事例による自社への水平展開をタイムリーに行う
- ・不具合発生時はその都度全員にて発生要因と対応策を決めて徹底する

③緊急事態対応訓練の実施（実施回数2回予定）

想定訓練内容：消火器の取り扱い訓練、

荷降ろし等における漏洩時の対応

緊急事態対応手順書に基づき基本的な手順の確認

応急処置の方法、汚染物の回収の方法、及び運行管理者への連絡について確認

7. 2024年度の環境経営計画の取組結果と評価

2024年度の二酸化炭素総排出量の取り組みの結果、年間CO₂排出量は、目標を未達成となり達成率は75.6%となった。

2021年度を基準とし2024年度の目標値を設定した運行管理においては、効率的な運行を目指し、客先と調整しながら計画的な運行管理を進めてきた。

事業所からの一般廃棄物総排出量は前年度比約10%減少し、リサイクル率は3.68ポイントアップしている。

以下、2024年度の各取組結果について考察する。

1) 電力使用量の削減

電力使用量は目標に対して、結果は達成率104.6%で達成出来た。

夜間の残業を減らすことでエアコンを使用している時間もかなり減らせたことが要因ととらえている。

2) 燃料使用量の削減

2024年度のガソリン使用量は目標値に対して達成率71.5%で未達成となった。

現地作業の増加により、営業車の使用や機材の燃料消費増加により、ガソリン使用量も増加し目標に対して未達成となった。

軽油の使用量の達成率75.1%と未達成となったが、年間原単位は達成率93.98%と数値は高くなっているが結果としては未達成となった。

今年度は同業者から依頼を受けたローリー車の運搬仕事が増加したために運搬費のみの収入で売り上げが伸びなかったことが影響している。

3) 水道水使用量の削減

水道水使用量は目標に対して達成率94.3%で未達成となった。

車両の塩カルによる汚れの洗浄、および現地作業での使用、また、作業で汚れた機材の洗浄、作業服の洗濯、作業車への水の補給等で水道を使っているが、許容範囲ととれる。

漏水の早期発見の為、日常のパトロールで異常状態を早めに気が付くようにしている。

又、冬季の水道配管凍結防止の為水栓のハンドル部分の保温実施と定期的なメンテナンスで凍結による漏水等のトラブルは発生していない。

4) 廃棄物の分別によるリサイクルの向上

自社内で発生した廃棄物は分別、リサイクル化にし、廃棄物の削減に取り組んでいる。廃棄物の計量作業は廃棄する人（運転手等）が出来るだけ計量するように工夫している。これも分別意識の定着に効果があるとしている。事業所からの一般廃棄物総排出量は前年度比約10%減少し、リサイクル率は3.68ポイント良くなっている。

確実に、廃棄物の分別が行われており、リサイクルが行われた結果、このように数値に現れたのだと認識する。

これまでの取り組みにより各エネルギー、廃棄物データのタイムリーな把握と、日頃からPDCAのサイクルを回せる仕組みが定着している。

今年度もコピー機の故障防止の為カレンダーの裏紙をコピー用紙として使用するのを停止し、運行管理用の用紙での使用のみに変更した。今後もコピー用紙使用量の削減、各用紙の裏紙の活用、及び保管書類のリサイクル率UPを図る為、分別を確実に実施するようにする。

5) 化学物質の適正管理

溶剤等を使用した際は、確実にキャップを閉じ危険物屋内貯蔵庫内に保管を行い、毎月保管数量の記録と管理を実施し適正管理を行った。

エアコン、冷蔵庫等の交換、修理、廃棄事象は無く、特定フロンガス使用機器の管理は平成27年4月に施行されたフロン排出抑制法に基づき第一種特定製品に該当する機器の簡易点検を継続実施（月例点検）している。

6) 収集・運搬中の環境への配慮

ドラム缶からの廃液漏えい事象発生防止の為、ドラム缶内部へのナイロン袋施工方法の見直しを継続しており、2024年度はドラム缶から漏えい事象は発生していない。

7) 緊急事態対応訓練の実施状況

実施回数 1回 （実施日 2024年11月13日）

訓練項目 消火器の取り扱い訓練

訓練想定内容

○手順書に基づき取り扱い方法を全員で確認した

○専門業者の指導で実際に消火器を使用し長いナイロン袋の中で噴射した。



8) その他の環境保全活動

①事業所前の道路の清掃活動は引き続き実施していくことで地域とのつながりが出来る。

次年度も継続していく必要がある。

②従業員への教育

○環境教育 11回実施

- ・E A 2 1 取り組み説明、経過報告、及び安全運転環境教育、計画以外であっても関連ニュース、及び取引先事業所からの教育依頼の情報等も有効に活用し、適時水平展開を行うようにするとともに、昨年から継続して教育項目に安全運転教育を追加して従業員への環境保全、交通安全教育の周知徹底を行った。



8. 次年度以降の取り組み内容

2025年度は2024年度を基準年度とし、目標値を設定する。

取り組み項目	具体例
エネルギー使用量削減による 二酸化炭素排出量削減	・アイドリングストップの推進 ・運行管理の適正化による車両運行の効率UPで原単位向上 年間総二酸化炭素排出量目標値 259,724 kg-CO₂ 各エネルギー年間削減目標 電力使用量：15,906 kWh ガソリン：7,934 ㍓ 軽油原単位：6.08 kg-CO₂/万円（売上） （参考 軽油使用量：90,063 ㍓）
廃棄物の削減とリサイクルの推進	・廃棄物の削減と再利用、リサイクルを活動の維持と新規アイテムの検討
水道水使用量の削減	・水道水の漏洩事故防止の為への意識UPと有効利用の推進 年間総水道使用量目標値 242.2 m³
化学物質の適正管理	・燃料油や溶剤等の揮発、漏洩防止 ・第一種特定製品の点検、フロンの回収・適正処理
収集・運搬中の環境への配慮	・収集運搬時の飛散漏えい防止 ・緊急事態対応訓練で予防と発生時の対応について訓練 ・トラブル発生時は予防対策等の環境教育実施 ・ドラム缶のピンホールによる漏洩防止対応策の効果確認
環境関連法規の遵守	・法令公布・施行時等の情報入手と関連事項は環境教育で周知
その他の取り組み	・地域の清掃作業等 ・SDGsと事業活動との繋がりを教育時に適時組み込み

9. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社に関連する主な法規制は下記のとおりであり、それらの遵守状況確認を今年10月度に実施したが、環境関連法規は全て遵守されており関係機関からの指導、勧告、訴訟はありませんでした。

遵守確認日 2024年10月31日

主な適用法規	法の要求事項	遵守状況
・廃棄物の処理及び 清掃に関する法律	産業廃棄物・特別管理産業廃棄物及び 一般廃棄物収集運搬業許可の有効期限等	遵守確認済
・自動車 NOx・PM 法	ディーゼル車の排ガス規制の適合車使用	遵守確認済
・フロン排出抑制法	業務用エアコンの簡易点検と記録、漏洩防止	遵守確認済
・浄化槽法	10条 浄化槽の保守点検及び清掃の実施 11条 定期的な水質検査の実施	遵守確認済
・消防法	移動タンク貯蔵所の定期点検 危険物屋内貯蔵所の適正管理 住宅用防災機器を設置、及び維持	遵守確認済
・貨物自動車運送事業法	登録、点検整備の実施 運行管理者の選任 点呼時に酒気帯びの有無を確認する為、アルコール検知器による管理を継続	遵守確認済

10. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果

「全体の取り組みについて」

2024年度のCO₂総排出量は259,724kg-CO₂、達成率75.6%と未達成となった。

今年度は削減目標の基準年度をすべて統一したことにより、やはり数値が厳しく思う。

本年度からコロナウイルスが業績・データ計測の数値などに影響を及ぼすこともなくなり、正常な数値がとれる為、再度基準年度を見直し本年度の数値を用いて管理するべきと感じる。

「各エネルギー削減取り組みについて」

電力使用量の目標値に対し達成率は104.6%で達成できた。この要因として、日々の消灯、エアコン使用温度と時間調整によると考えます。

軽油の原単位管理は94.0%と未達成となり、軽油とガソリンのCO₂排出量はどちらも未達成となっている。

営業車の走行の増加、現地作業への送迎、ローリー車の走行距離の増加が要因と考えられる。

これからも排出事業者、処分事業者と調整しながら計画的な運行管理を進めていく。

「次年度の取り組みについて」

- ・2023年度より新たな基準年度に設定し、2年間管理してきたが、業務の内容の変化もあり設定されている基準値では、管理できないと認識している。

次年度は、改めて基準年度を見直し、再度体制を整えて取り組んでいく。

- ・従業員の教育の中で、日常の仕事の中にもSDGsの活動が多く含まれていることを意識付けるようにする。

「環境経営システムの各要素について」

- ・2024年度は、産業廃棄物処理事業者向け2017年版ガイドラインを適用して運用を行い特に問題はなく推進できた。

「実施体制について」

- ・実施体制については見直しの必要は無く現状の体制で進めていくこととする。

「環境経営方針について」

- ・環境経営方針は運用において問題はないと判断する。

「目標・環境経営計画について」

- ・ガソリン、軽油（原単位）、水道が未達となっている。

コロナウイルスが収束し、通常の業務に戻ることができたが、その中でも、仕事の内容にも変化があり、今の数値では管理できないのが現状。

次年度は、本年度の数値を基準とする基準年度の見直しが必要と考える。

2024年10月31日

代表取締役 川本 満博